

奈良の京の荒墟を傷み惜しみて作る歌三首

一〇四四番

紅くれなるに 深く染ふかみにし 心こころかも 奈良ならの都みやこに 年とし  
の経へぬべき

一〇四五番

世よの中なかを 常つねなきものと 今いまそ知る 奈良ならの都みやこの  
うつろふ見みれば

一〇四六番

石いはつなの またをちかへり あをによし 奈良ならの  
都みやこを またも見みむかも